

No. 139
2024.5.5

小松島市 議会だより

17-Seventeen

特集 ふるさと納税講演会ほか

3月定例会議

常任委員会報告・一般質問
議案等賛否表



UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた、見やすい文字を
採用しています。

常任委員会報告



予算決算常任委員会

委員長 なんぶ とおる
南部 透

令和6年度一般会計当初予算

160億9000万円
(前年度比2.4%減)

令和5年度一般会計補正予算

2億7936万1000円

3月13日、15日、18日、19日は部局別審査として各課より説明を受け、質疑を、21日は自由討議、総括質疑、討論、採決を行った。審査に当たっては、議案説明のほかに、令和6年度に行う重要事業及び、令和5年9月定例会議に議会から市長に提出された議会評価意見書に対する予算反映等改善書について説明を受けた。委員会に付託された、本年度の一般会計予算を含む議案13件を原案のとおり可決した。

議会抽出の令和6年度小松島市予算重要事業

令和6年度に市が行う165の主な事務事業の中から、特に重要と思われる事業を各議員が抽出し、その集計の中から新規事業を含む6事業を選定し、当局に委員会で詳しく説明を求め、質疑を行った。

抽出事業には、次の事業がある。

- 災害廃棄物処理計画改訂事業
- 子育て世帯応援学校給食無償化補助金給付事業
- こども計画策定会議運営事業

予算額

7673万円

令和5年10月から学校給食無償化を実施しており、令和6年度も引き続き、実施することにより、子育て世帯への物価高騰の影響を軽減する。

子育て世帯応援学校給食無償化事業



**まち・ひと・しごと総合戦略事業
(リスキリング支援)**



予算額

3133万2千円

出会い、結婚、出産、子育て、住まいまで切れ目ない支援の中で、デジタルスキルの習得を目指した市民向けリスキリングセミナー等を実施し、テレワーク等の多様な働き方を支援する。

予算額

973万4千円

本市の健康課題である糖尿病に重点を置いた糖尿病と闘うプロジェクトを立ち上げ、妊産婦から高齢者まで幅広い世代を対象とした糖尿病の発症予防、早期発見、合併症予防に取り組む。

健康増進事業

(糖尿病と闘うプロジェクト)



事務事業評価に対する予算反映等改善書

昨年9月に行った令和4年度事務事業の議会評価意見書をもとに、令和6年度予算における反映等改善書が提出された。そのうち、下記4事業を抜粋。

保育所・認定こども園保育料軽減事業



議会評価 拡充

行政からの予算反映等改善事項

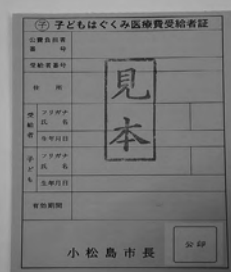
市民税課税世帯の0歳児から2歳児が認可保育所、認定こども園等を利用する場合において、令和6年度も引き続き市民税均等割課税区分以上の全認定区分で最大20%程度の保育料を減額。

行政からの予算反映等改善事項

県が子どもはぐくみ医療費助成制度の見直しを行い、令和6年度から助成対象を18歳到達日以後最初の年度末まで拡大するとともに所得制限を撤廃し、入院費にかかる自己負担の600円を県と自治体が2分の1ずつ負担することで無償化する。

さらに、市単独事業として通院費にかかる自己負担の600円を無償化する。

子どもはぐくみ医療費助成事業



議会評価 拡充

本港地区活性化事業



議会評価 改善・効率化し継続

行政からの予算反映等改善事項

令和4年度に策定した基本構想等を基に、現在、プールや多目的な会議室等を有する複合施設の基本計画の作成や、民間活力導入可能性調査、事業所ヒアリングを実施し、有識者会議において議論を重ねている。

行政からの予算反映等改善事項

施設改修基本計画では、基本コンセプトを「訪れる人に癒しと憩いを提供し、未来につながる学びをつくる」とし、公園と図書館の一体化活用を進め、子育て世代を中心とした、より多くの市民の方に活用いただける図書館を目指している。今後、図書館のICT化等利用者の利便性向上への取組を行い、引き続き創意ある運営に努める。

図書館運営事業



市立図書館とためぎ広場の連続した空間イメージ¹⁾(案)

議会評価 改善・効率化し継続

総務常任委員会

委員長

近藤 純子
こんどう じゆんこ

小松島市消防団員等の公務災害補償に関する条例の一部改正を可決

当委員会には、議案5
件、陳情1件が付託され、審査の結果、議案は原案のとおり可決、陳情は不採択とした。

◎議案第17号

市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正するもの。

◎議案第18号

市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正するもの。

◎議案第19号

市消防団員等の公務災害補償に関する条例の一部を改正するもの。

◎議案第20号

市消防手数料条例の一部を改正するもの。

◇議案に対する質疑◇

前川 会計年度任用職員
の勤勉手当は令和6
年の夏の賞与から適用
になるか。

人事課長 令和6年6
月期の賞与から反映さ
れる。

◇議案に対する質疑◇

吉見 消防団員の年額
報酬を個人に振り込み
しないのか。

消防総務課長 消防団

文教厚生常任委員会

委員長

四宮 祐司
しのみや ゆうじ

小松島市休日診療所条例を廃止する条例を可決

当委員会には、議案6
件、陳情1件が付託され、審査の結果、議案は原案のとおり可決、陳情は採択とした。また、報告2件については詳細な説明を受けた。

の中で運用したい。

◎議案第22号

令和6年度から令和8
年度までの介護保険料
基準額を改める等の改
正を行うもの。

◎議案第23号

立江公民館と消防団第
14分団詰所との立江地
区複合施設の供用開始
にあわせ、立江公民館
の所在地を変更するもの。

◎議案第24号・25号

条文中の常用漢字表に
ない漢字の表記を一部
改めるもの。

◎議案第34号

小松島市世代間交流健
康センターの指定管理
者を指定するもの。

◇議案に対する質疑◇

南部 今後設置するこ
ども家庭センターにつ
いて、新たに設置条例
をつくるのか。

◎議案に対する質疑◇

児童福祉課長 一般的
な相談業務を取り扱う
ので設置条例は必要な
い。保健センター条例

産業建設常任委員会

委員長

前川 英貴
まえがわ ひでき

小松島市森林環境整備基金条例の一部を改正する条例を可決

当委員会には、議案8
件が付託され、審査の
結果、原案のとおり可
決した。また、報告1
件については詳細な説
明を受けた。

◎議案第26号・27号

条文中の常用漢字表に
ない漢字の表記を一部
改めるもの。

◎議案第28号

条例の中の引用する法
律の名称を改めるもの。

◎議案第29号・30号

条例の中の地方自治法
の一部改正による条
れを解消するため、改
正するもの。

◎議案第31号

令和5年人事院勧告に
準じ、在宅勤務等の中

◎議案第32号

要の改正を行うもの。
令和6年度から、競輪
従事員名簿登録期間が
6か月以上の臨時従事
員について勤勉手当を
支給するため、条例の
一部を改正するもの。

◎議案第33号

配偶者暴力防止等法の
改正に伴い、同法の規
定を引用する条文につ
いて、市営住宅条例の
一部を改正するもの。

と十分協議し、個人支給できるよう努めたい。

◎陳情第1号

日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める陳情書については、採決の結果、可否同数であった。委員長は本案に対し不採択すべきものと決した。

◇所管事項での質問◇

津川 大手企業がふるさと納税の事業に窓口として参入するという報道を見た。本市へのふるさと納税額も大きくなっているが、外国企業に手数料が出ていく等の懸念もある。本市の考えは。

企画政策課長 本市として有益なものか考え、判断したい。

吉見

旧教育委員会の県道横ブロック塀に鉄筋が入っておらず、早急に撤去すべきだが。

総務課長 指摘箇所は

調査によると鉄筋は入っている。今後は定期的に状況確認したい。

四宮

市の津波避難施設であるニュータウン地区の命山に、災害時を想定し、時計の設置を検討しないのか。

危機管理部副部長

屋外の時計について、今後必要性も含めて検討していく。



ニュータウン地区の命山

間 災害用備蓄品の個数と内容は。

危機管理部副部長

ホームページの地域防災計画資料編に備蓄の個数は入っているが、より詳しい状況が出せるよう検討したい。

◎陳情第2号

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める陳情については、採決の結果、挙手多数により、採択すべきものと決した。

◎報告第1号

公用車運転中の事故に關し、損害賠償額を専決処分したもの。

◎報告第3号

宅地取得資金、住宅新築資金の債権を放棄したため、条例の規定により報告するもの。

●行政からの報告事項

令和6年4月1日から始まる小松島市パートナーシップ宣誓制度について説明を受けた。

◇報告事項での質問◇

間 パートナーシップ宣誓書の受領について、即日交付は可能か。

人権推進課長 確認の

作業にある程度時間が必要と考えているが、できるだけ速やかに決裁等の手続を進めたい。

南部

令和6年4月1日から始まるが現時点で、利用できる市の行政サービスについて、公にすることができないのか。

人権推進課長

各課に照会している内容を最終確認し、令和6年4月1日には公表したい。

◇所管事項での質問◇

肥野 小・中学校の子どもへの給食費無償化は継続的に進めていくのか。

教育次長

令和5年度の10月から行っており、令和6年度も半年間継続したい。



◎報告第2号

公用車を運転中、右前方から相手方車両が後退してきたため、公用車を一時停止していたところ、相手方車両後部と公用車前部右側が接触したため、損害賠償額を専決処分したものの。

◇報告事項での質問◇

吉見 一時停止中に、相手が接触してきても、過失は10%あるのか。

住宅課長

気づいたのが接触の直前だったため、1割の過失割合となった。

●行政からの報告事項

水道基幹施設の更新案の報告と、配水池・送水ポンプ場の施設配置や施設の形状等を定める基本設計を令和6年度から2年間で行う予定である等、今後の取組について説明を受けた。

◇所管事項での質問◇

井内 小松島競輪場女子選手対応宿舍の建設工事の状況は。

競輪局長

工事は終了した。手直し後、経済産業省の検査、市の竣工検査を受ける予定。



女子選手対応宿舍

松下

立江榎渕から阿南間の高速道路が、令和7年度に開通見通しとなっているが、道の駅等の本市の取組は。

まちづくり推進課長

その地域に道の駅と地域活性化、農業振興に寄与する施設を計画している。



【総務常任委員会】ふるさと納税の講演会を開催

総務常任委員会では、令和5年10月26日にふるさと納税の講演会を開催し、委員外議員も含め11名が参加しました。大阪府泉佐野市政策監（兼）成長戦略室長（兼）MICE推進担当理事ふるさと納税エバンジェリストの阪上博則さんから、ふるさと納税の現況や泉佐野市のふるさと納税の取組等について講演いただきました。



【文教厚生常任委員会】視察報告

令和5年10月4日、文教厚生常任委員会の委員9名と議長、委員外議員2名がバイオマス資源化センターみとよ（香川県三豊市）を視察しました。トンネルコンポスト方式（好気性発酵乾燥方式）によるごみ処理等について調査し、質疑応答を行いました。また施設内を見学しながら、詳細な説明をしていただきました。株式会社パブリック本社工場（香川県観音寺市）では工場内を見学し、固形燃料の製造過程について解説していただきました。



固形燃料を見学する委員

【産業建設常任委員会】視察報告



岸和田カンカンベイサイドモール

産業建設常任委員会の委員11名及び議長が、令和5年10月10日に岸和田カンカンベイサイドモール（大阪府岸和田市）、令和5年10月11日に桜ヶ池クライミングセンター（富山県南砺市）を視察しました。クライミング施設、館内関連施設の見学、年間利用者数や収益、施設整備及び運用に関する影響等について質疑応答を行いました。



桜ヶ池クライミングセンター

議員の賛否表（令和6年3月定例会議）

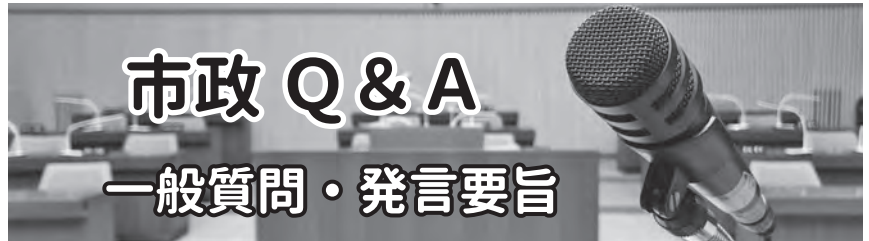
（賛否の分かれた議案）

議案等	議員名 (議席番号順)	委員長 報告	間 愛結美	南 部透	津 川孝善	肥 野耕次	佐 藤光太郎	高 木幸次	松 下大生	四 宮祐司	井 内章介	近 藤純子	米 崎賢治	前 川英貴	吉 見勝之	安 平剛之	杉 本勝	結 果	
																			議案等
第7号	令和6年度小松島市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情第1号	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める陳情書	不採択	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	●	●	○	○	不採択
陳情第2号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める陳情	採択	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	採択

委員長の報告に対して ○は賛成 ●は反対 ※議長（池淵 彰）は、採決に加わりません。

以下の議案34件、議員提出議案3件は全会一致で可決（推薦）

第8号	令和6年度小松島市競輪事業特別会計予算	第27号	小松島市公共下水道の構造の技術上の基準及び終末処理場の維持管理に関する条例の一部を改正する条例について
第9号	令和6年度小松島市後期高齢者医療特別会計予算	第28号	小松島市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部を改正する条例について
第10号	令和6年度小松島市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	第29号	小松島市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について
第11号	令和6年度小松島市国民健康保険特別会計予算	第30号	小松島市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について
第12号	令和6年度小松島市土地取得事業特別会計予算	第31号	小松島市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例について
第13号	令和6年度小松島市介護保険特別会計予算	第32号	小松島市競輪事業臨時従業員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について
第14号	令和6年度小松島市下水道事業会計予算	第33号	小松島市営住宅条例の一部を改正する条例について
第15号	令和6年度小松島市水道事業会計予算	第34号	小松島市世代間交流健康センターの指定管理者の指定について
第16号	小松島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	第35号	令和5年度小松島市一般会計補正予算（第13号）
第17号	小松島市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	第36号	令和5年度小松島市競輪事業特別会計補正予算（第2号）
第18号	小松島市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例について	第37号	令和5年度小松島市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
第19号	小松島市消防団員等の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例について	第38号	令和5年度小松島市介護保険特別会計補正予算（第2号）
第20号	小松島市消防手数料条例の一部を改正する条例について	第39号	人権擁護委員の推薦について
第21号	小松島市休日診療所条例を廃止する条例について	第40号	人権擁護委員の推薦について
第22号	小松島市介護保険条例の一部を改正する条例について	第41号	人権擁護委員の推薦について
第23号	小松島市公民館条例の一部を改正する条例について	議提第1号	小松島市議会ハラスメント防止条例の制定について
第24号	小松島市人権条例の一部を改正する条例について	議提第2号	小松島市議会会議規則の一部を改正する規則について
第25号	小松島市犯罪被害者等支援条例の一部を改正する条例について	議提第3号	小松島市議会委員会条例の一部を改正する条例について
第26号	小松島市森林環境整備基金条例の一部を改正する条例について		



◆一般質問

質問者名	件名	
四宮 祐司	SDGsの推進について	P8
	本市の農業振興について	P9
	公共交通について	P9
南部 透	行政DXから自治体DXへ	P9
	南海トラフ巨大地震に備えて	P9
	ライドシェアについて	P8
	行動分析学を教育に	P9
近藤 純子	災害用備蓄品の増強、避難所運営設営向上について	P10
	命を守るための災害に備えた急務な取組について	P10
	学校現場で校務支援システムの有効活用により、子どもたちと向き合う時間の確保を	
	妊産婦を含めた市民の健康増進に関わる保健師・助産師の人材確保について	P11
井内 章介	介護保険について	P10
	中田駅のトイレ設置について	P10
	災害廃棄物の処理対策について	P11
安平 剛之	大災害時における諸対策について	P11
	義務教育における新たな授業について	P11
	市内中小・小規模事業者の活性化について	P11
佐藤光太郎	こども家庭センターについて	P12
	重層的支援体制整備事業について	P13
	赤石地区一般廃棄物最終処分場について	P12
間 愛結美	医療的ケアが必要な方への支援について	P12
	妊娠・出産を支える取組について	P12
	選挙について	P12
	婚活支援について	P13
吉見 勝之	職員の福利厚生について	P13
	住みよい街について	
	民間建築物耐震事業について	P13
杉本 勝	本港地区活性化事業について	P14
	ごみ処理施設整備について	P14
	空き家対策について	P15
	財源について	
肥野 耕次	防災について	P14
	情報保全の在り方について	
	教育委員会の役割について	
	予算編成について	

ごみ減量化に向けての取組は



公明党
四宮 祐司 議員
しのみや ゆうじ

答
キエーロの普及促進、リサイクル推進等施策を進めている



本市の地域公共交通にライドシェアの導入を



至誠コマツシマ
南部 透 議員
しせい なんぶ とおる

答
地域の未来への交通手段と捉え、検討したい



四宮 本市の1人1日当たりのごみ排出量は、県や全国平均と比較して依然多い。ごみ減量に向けての取組状況は。

市民環境部長 生ごみ

分解型処理容器キエーロの普及促進、衣類の再利用、再資源化、分別回収の徹底を推進するための小松島市エコステーションの設置、ペットボトルからペットボトルへの再生や、キヤップ回収によるリサイクルの推進など、ごみ減量化に向けた施策を進めている。

本市の農業振興について

四宮 農業においては

事業の後継者が減少し、耕作放棄地も増加している。地域農業を支えるため、本市の取組は。

産業振興部長 本市農

業の持続的発展に向け、

担い手の確保、デジタル技術導入等の取組、環境に配慮した循環型農業の推進を図っており、農地の効率的、総合的な利用の姿を明確化するため地域計画を令和6年度末策定完了に向け取り組んでいる。

四宮 国は有機農業へ

の転換など現場の取組を強力に後押しすることだが、有機農業の推進について本市はどう取り組むのか。

産業振興部長 小松島

市生物多様性農業推進協議会を設立し、小松島有機農業サポートセンターと連携し、有機農業者の育成を支援する活動等を行っている。そのほか、引き続き基幹作物である水稲を中心に、他地域との差別化によりブランド化を図り、高品質、高付加価値な農産物による農

業所得の向上と、持続可能な食料システム戦略の目標達成に向け、有機農業のさらなる拡大に努めたい。

公共交通について

四宮 本市の今後の公

共交通に対する取組は。

市民環境部長 デマン

ド交通をはじめ新たな交通モードが本市に適合するか等を検証の上、あらゆる地域の輸送資源を総動員し、それぞれの持つ強みを生かした移動手段を確保、交通弱者を取り残さない持続可能な公共交通の実現を目指したい。



のりあい交通(ジャンボタクシー)

南部 ライドシェアは推進するべき事業と考えるが、課題は。

市民環境部長 実施で

きる事業者がいるかを含め、導入について既存公共交通機関等への影響を議論する必要がある。

南部 クルーズ船にお

ける観光で、地元を知る通訳案内士が民間ライドシェアを行い、乗客に本市を案内、思い出につながる事業ができれば、クルーズ船企業にPR、誘致ができる。導入の考えは。

市長 魅力的な提案で

あるが、様々な課題があるため、今後も国の動向を注視し考えたい。

行政DXから自治体DXへ

南部 神山町は地域ア

プリを導入。導入率は人口の50%、その80%

が65歳以上。神山町のように地域の入り口となるアプリの導入を。

総務部長 手法が有効

か等を見極めたい。

南部 これこそ自治体

DXで、アプリでアンケートを行うなど住民の考えを拾うことができ、社会福祉のインフラになるのではないかと。本市も取り入れるよう環境を整えるべきでは。

総務部長 神山町の地

域アプリは町民との接点の多様化にも対応。今後も、先進地事例等を参考に、デジタルの力を活用した、市民の利便性向上や地域課題の解決に取り組みたい。

南海トラフ巨大地震に備えて

南部 被災後の復興に

対し、市街地の復興シナリオはもちろん、企業に再び本市で再建し

てもらえるよう、市都市計画マスタープランの改定を進めては。

都市整備部長 今後、

都市計画制度を活用し、インターチェンジ周辺や都市化が進んでいる国道55号周辺等地域の特色に応じた、災害に強く安心して暮らせるまちづくりを進める。

行動分析学を教育に

南部 応用行動分析学

に基づくスクールワイドPBSの考え方を本市で広げてほしいが。

教育長 実践した児安

小学校等では有益な成果が得られた。学校の課題解決の有効な手法の一つと考えている。



住宅の耐震化を施しやすい取組について本市の考えは

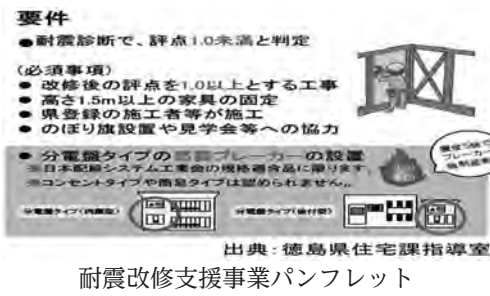


新風はなみずき
近藤 純子 議員

答
支援制度の構築、充実を図り、普及啓発に努める



近藤 能登半島地震で多くの建物倒壊を受け、住宅の耐震化を施しやすい市独自の取組を要望したいが。



都市整備部長 小松島
市木造住宅耐震改修奨

励りリフォーム事業の助成額を現行の15万円から、最大35万円に引き上げた予算を計上。事業実施期間を現行2月未了から翌年度への繰越しが可能となるよう弾力性を持たせる等支援制度の構築、充実を図り、普及啓発に努める。

近藤 水道システムは生命線となる新たな配水池、送配水管更新の強靱化に向け一刻の猶予もない。現在の取組状況は。

水道部長 配水池、送水ポンプ場の施設配置

災害用備蓄品の増強を

や形状等を定める基本設計を令和6年度から2年間で行うため当初予算に計上。送配水管が市道下に埋設するため道路改良事業による測量調査を実施予定。

近藤 災害時トイレの問題は待ったなしである。避難所への携帯トイレの備蓄数を増やせないのか。

危機管理部長 備蓄数拡充の方向で進めたい。

近藤 避難所に備蓄飲料水を増やす考えは。

JR中田駅のトイレ設置についての対策は



令和の会
井内 章介 議員

答
設置計画はないがトイレ空白地帯をなくす取組を検討する



井内 中田駅のトイレ設置について、JRを利用し通勤、通学している市民から強い要望があるが今後の対策は。

田、阿波赤石、立江の各駅はトイレがない現状のままか。

市民環境部長 現時点で設置計画はないが、一定のエリア内に利用可能なトイレを配置し、トイレ空白地帯をなくす取組を検討する。

市長 設置の要望があることは十分承知しており、JRへ要望を行った財源の中で優先順位をつけ事業を行いたい。

介護保険制度の在り方について

井内 介護保険制度について、中長期的には年齢引下げや低所得者層負担軽減のため制度等の見直しが必要では。

保健福祉部長 第9期介護保険事業計画では、国の方針にのっとり1号保険料の見直しを考

えている。国からの財政的インセンティブとなる交付金確保も積極

井内 南小松島駅だけトイレ改修を行い、中



中田駅

保健福祉部長 令和6年度改正で1号保険料

の低所得者の標準乗率引下げ等の見直しが示されている。国の制度改正等の動向を注視、適宜見直し、実情に合った給付と負担のバランスの取れた持続可能な制度運営に取り組み。

井内 少子化による人口減少等で介護保険の財政運営も厳しくなるが、今後の財源確保は。



危機管理部長 目標数量達成に向け、計画的に備蓄を進めたい。

近藤 本市避難所運営

マニュアルに女性に配慮した避難所運営の視点を取り入れられないのか。

危機管理部長 男女共同

同参画の視点をさらに

取り入れた改定の必要性も感じており、具体的な検討を行い、反映させたい。

保健師・助産師の人材確保を

近藤 個人個人に合わせた助言を行えるよう

保健師・助産師の人材確保は。

総務部長 令和6年度

に向け、保健師2名程度を募集人員とした採用試験を実施。さらに助産師を採用するなど体制整備に取り組んでいる。

大災害における避難時の災害関連死対策は



志士の会
安平
剛之
議員

答
資機材の整備や啓発など、防止対策に努めたい



安平 本市では災害関連死を防ぐため、どのような対策、計画を考えているのか。

危機管理部長 避難所では大勢の方が共同生活を送るため、身体的、精神的負担が大きい。感染症の防止など安心

して避難生活を送ることができる環境整備に取り組む必要があり、パーティションや簡易トイレなどの整備や啓発などを進めている。

安平 県が公表した南海トラフ巨大地震での被害想定では、本市の

的に行っており、将来的にわたり、介護サービスが安心して利用できるよう努める。

災害廃棄物の処理対策は

井内 災害廃棄物処理の広域連携に対する本

市の取組の現状は。

市民環境部長 県内の市町村と県が、災害時相互応援協定を締結し、さらには訓練により、関係団体等と連携強化を図り、処理対応能力の向上につなげている。

井内 広域連携等に対

する市長の見解は。

市長 大規模災害時には県と連携しながら、広域的な支援要請を行うこととしている。県外、広域自治体間での連携方策も模索しており、今後も迅速な処理の体制構築に努めたい。

SNSによる誹謗中傷について

安平 SNSにおけるネットいじめ等、人権に関わる様々な問題が発生している。小学校の早い段階で人権教育を始めるべきでは。

副教育長 市内の全小学校で小学1年生から情報モラル教育に取り組むほか、小・中学校全体で学年に応じた人権教育を実施し、ICTの利便性と正しい使用方法等の学びを確立、徹底したい。

中小・小規模事業者の活性化は

安平 経済の活性化には公共工事を増やすことが不可欠ではないか。

総務部長 大規模な事業を予定しており、本市に大きな経済効果を生み出すと考えている。財政とのバランスを十分踏まえ、意を用いて取り組みたい。



一般廃棄物最終処分場の今後は



新風はなみずき 佐藤 光太郎 議員

答 県、環境整備公社等と協議中である



佐藤 赤石地区一般廃棄物最終処分場の進捗状況は。

市民環境部長 令和6

年2月時点の残余容量は、約1200立方メートルであり、令和6年12月頃、埋立て満了が見込まれる。

佐藤 今後の方向性は。

市長 令和5年6月、知事に最終処分場の受入れの要望を行った後、一般財団法人徳島県環境整備公社が所管する処分場への搬入に向けて、県及び環境整備公社等との協議が進行中である。

こども家庭センターの準備状況は

佐藤 こども家庭セン

ターには母子保健分野の子育て世代包括支援センターと児童福祉分野の子ども家庭総合支援拠点機能の一体的な運営を求められる。相談支援の対象は全ての妊産婦、子育て世代、子どもとし、従来機能に加え、支援を必要とする人に、サポートプランを作成、個別支援を行う。また支援体制の充実、強化を図るため、地域の民間団体と

の連携等も求められる。現在までの準備状況は。

保健福祉部長 母子保

健及び児童福祉両担当による機能が十分果たせる組織づくりに必要な職員配置を協議した。母子保健及び児童福祉機能の連携性が高められるよう未利用の保健センター内休日診療所を活用する。

佐藤 センター設置に

向けての考えは。市長 センターの役割は重要であると認識しており、令和6年7月開始を目的に、一日も早く設置できるように取

医療的ケアが必要な方を支える家族への支援は



至誠コマツシマ 間 愛結美 議員

答 レスパイト（一時的休息）事業等により支援を行っている



間 医療的ケアを行っ

ている家族は、働きたくても働くことができない。家であれば仕事ができるかもしれないとの声がある。本市の在宅ワークの取組は。

産業振興部長 令和3

年7月に働き方支援センターを設置。テレワークに関する様々な相談やスキルアップセミナーの開催など、多様な働き方の実現を目指す施策を展開している。

間 投票で投票する際

の支援を 投票する際に支援が必要な方への取組として、徳島市が導入した投票支援カードと、

流産や死産で子どもを

亡くされた家族の悲しみや心の痛みを受け止め、寄り添う支援のこ

とを言う。本市での支

援体制は。保健福祉部長 助産師や地区担当保健師が、相談者の気持ちに寄り添い、必要があれば医療機関等につなぐ支援に努めている。

投票管理委員会事務局

長 投票支援カードは、令和5年10月の参議院議員補欠選挙で期日前投票の際、試験的に運用を開始した。今後は、カード内容の見直し等を実施、利便性の向上を図りたい。その後、検証を行うとともに、障がい当事者の方などの意見も伺いながら、

り組みたい。



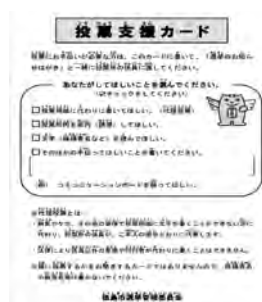
こども家庭センター
設置予定場所

重層的支援体制整備事業の現状は

佐藤 重層的支援体制

整備事業の本格的な事業開始に適切なタイミングと考えるが現状は、**保健福祉部長** 実際の困難事例の検討などを通し、本格実施に向け、認識の共有化や支援機関相互の連携体制の強化を図ってきた。令和6年4月に実施となる。※重層的支援体制整備事業Ⅱ解決が難しい課題を抱える方を制度のはざまに取り残さないことを目指し、分野や属性を超えた包括的な支援体制を整備すること。

コミュニケーションボード導入に関する研究を進めたい。



若者の住宅確保は

間 結婚となる時期に住宅確保の支援を行うことで、他市からの若者の移住定住につなげることができると考えるが、本市の取組は。**総務部長** 令和4年度の子育て世代応援プロジェクトの開始と同時に、住宅購入費等を助成する結婚生活支援事業をスタートさせており、切れ目のない支援の概要を紹介するパンフレットも作成し、市内全戸に配布している。

職員に低用量ピルの費用助成を



志士の会 **吉見** 勝之 **議員**

答 職員のニーズを調査し、考えていきたい



吉見 低用量ピルは生理による体調不良の原因である性ホルモンの変動幅を抑えて症状を和らげる効果がある。価格は種類により異なるが1か月3千円程度。服用が長期にわたるため金銭的負担も大きい。

自治体の先陣を切り、職員に費用の助成をする仕組みを導入できないか。

総務部長

厚生労働省

の資料では、症状が強いが我慢していると回答したのは全体の66・4%で、令和2年度中に生理休暇を利用した人は全体の0・9%。本市も生理休暇制度はあるが、利用は非常に少ない。我が国では低用量ピルの服用に対する知識の不足で、その服用率は大幅に低い。費用の助成については、

他自治体の動向などを十分注視し、適切に判断したい。

吉見 ごみ処理方法は他自治体に先駆け先進的な方法で計画している。この低用量ピルも同様に行ったらどうか。

総務部長

福利厚生事業

業であり、職員に有意義な事業となるよう考えていかなければならない。助成については、社会情勢及び他自治体の動向を見極める必要があると考えている。

市長

職員のニーズを

しっかりもう一度調査し、大きなニーズがあれば考え、選択したい。

吉見 テレビ番組で、男性が一番軽い生理痛を体験し、椅子から転げ落ちた。調査ではなく、積極的に助成すればどうか。

市長 本市の女性管理職は32%弱と非常に高い。風通しのよい、女性性が女性に相談しやすいような職場環境になりつつある。しっかりとニーズ調査したい。

まず家具の耐震対策を

吉見 防災士の講習で鳴門の民家を視察。冷

蔵庫、テレビ、本棚など全部固定していた。減災化対策支援事業として、まずは家具の固定から始めればどうか。**都市整備部長** 住宅の耐震、減災化に資する事業は一層進めていく必要がある、ニーズに応じて、きめ細やかな対策を講じ、被害の軽減を図ることは、肝要であると考えている。



家具の耐震化

経年劣化の激しいSL機関車を 今後どのようにするのか



新風はなみずき **杉本 勝** すぎもと まさる 議員

答 塗膜調査を実施、令和6年度中に塗装工事完成を目指したい



本市において災害時のドローン 活用は



清流会 **肥野 耕次** せいりゅうかい ひの こうじ 議員

答 検証結果からドローンを含め情報収集体制の確立を検討したい



杉本 本港地区活性化事業の進捗は。

政策監 SL記念広場に、インクルーシブ遊具を設置し、公園利用者

者の利便性の向上のため新たな駐車を整備した。ステーションパーク全体の再整備に係る改修工事の設計業務について、公募型プロポーザル方式で受注者を決定、令和6年2月委託契約を締結した。

杉本 駐車場の台数が少なく移動に危険を伴わないか。

都市整備部長 駐車場の不足の課題は認識して



SL記念広場の機関車

いる。今後、広報誌等で新たに設置した駐車場や市立図書館の駐車の周知や物産広場のスペースの開放等、公園利用者の安全、快適な施設運営に努める。

杉本 SL記念広場の機関車は長年の雨風にさらされ非常に傷んでいるが、今後の対応は。

都市整備部長 機関車等の塗膜調査を実施した後、ガバメントクラウドファンディングを通じ支援の拡充を図り、令和6年度中に塗装工事の完成を目指したい。

ごみ処理施設整備事業の取組方針は

杉本 ごみ処理施設整備事業の本市の取組は。

市民環境部長 焼却を行わず二酸化炭素の排出を削減、環境に優しい好気性発酵乾燥方式を採用した施設の最終候補地として芝生町、田野町周辺地域を選定

している。

肥野 災害時における最悪の想定での消防隊員の参集割合は。

消防長 橋の崩落、道路の陥没などの最悪のシナリオの場合、直ちに参集できない職員の割合は2割程度だと想定している。

肥野 本市の被災状況の確認方法は。

消防長 庁舎屋上からの目視、消防分団からの無線連絡、職員が参集する際の見分や、県が運航している消防防災ヘリコプターの活用も方法の一つだと考えている。

している。

肥野 ドローン導入に

消防長 経費等の課題もある。能登半島地震の検証結果からドローンも含め、災害時の情報収集体制の確立を検討したい。

肥野 大規模災害時には権限証明に写真も必要なく、エリアで一括すると聞いたが、家屋やその他財産の損害状況に関係なく一律の復興支援になるのか。

総務部長 一括認定エリア、全棟調査エリア、申請調査エリアの区別りによる調査計画を立

て、津波や大規模火災等の面的被害の場合は対象エリアを一括して被害認定を行うことで調査の効率化を図る。

さらに令和5年度導入した被災者生活再建支援システムは、能登半島地震においても使用されたもので、同じシステムを利用して

いる。県外の自治体などにより効果的なサポートを得ることができ、モバイル端末を利用し住家被害認定調査のデータを随時システムへ送信可能なことから権限証明書の速やかな交付に

議員提出議案を全会一致で可決

3月定例会議散会日（3月25日）、議会運営委員の提案による下記議案3件を提出し、いずれも全会一致で可決した。

◎議提第1号

小松島市議会ハラスメント防止条例の制定について

小松島市議会及び小松島市議会議員は、小松島市議会基本条例（平成21年小松島市条例第15号）第8条に定める執行機関と議会の緊張関係を保ちつつも、全ての職員の人格と尊厳を尊重し、接することで互いの信頼関係を構築するとともに、議員としての品位と名誉を重んじ、ハラスメントのない健全な職場環境を作るため、条例を制定するもの。

◎議提第2号

小松島市議会会議規則の一部を改正する規則について

◎議提第3号

小松島市議会委員会条例の一部を改正する条例について

令和6年4月1日に標準市議会会議規則及び標準市議会委員会条例の一部が改正されることに伴い、本市議会の会議規則及び委員会条例を改正するもの。主な改正の内容として、議会のデジタル化に関するもの、常用漢字の変更に伴う文言の整備や規定の不備などに対し改正を行うもの、現在の社会情勢等に照らし改正が適当と判断されたものについて改めるものである。

議会の個人情報の保護に関する制度による開示状況	議会情報公開制度による開示状況
前年度の議会の個人情報開示の実施状況を報告します。 令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）、開示請求は0件でした。	前年度の議会情報開示の実施状況を報告します。 令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）、開示請求は1件でした。
【開示請求の方法などお問合せ先】 議会事務局 電話 0885-32-1359 / FAX 0885-32-6611 Mail : gikaizimukyoku@city.komatsushima.i-tokushima.jp	

住民説明会を行った。今後も地域住民の理解、協力を得ながら施設整備に取り組みたい。

杉本 今後の方針は。

副市長 令和6年度に施設整備基本計画の策定、生活環境影響調査の実施などを行う予定。

空き家対策は

杉本 老朽危険空き家除却支援事業、令和5年度は何件の申込みがあったのか。

都市整備部長 12件あり、不良度判定の点数が高い空き家10件に補

助金を交付した。

杉本 空き家バンクとはどのようなものか。

総務部長 空き家所有者が空き家バンクに登録した情報をホームページで紹介し、問い合わせがあった場合はマッチングを実施する。

つなぐと考えている。

肥野 災害状況により電柱等が倒れると、保育園の幼児カートでは逃げられない状況もあると聞いた。行政から、私立認可保育所等に各種避難方法の問題点を話し合う場を設けるのか。

るのか。

保健福祉部長 施設監査を毎年行っており、防災対策を書面と聞き取りによる確認をしている。被害状況に応じた避難方法の在り方も多面的視点で検討する必要があるため、今後

も避難訓練の実施を推進し、保育所等の安全確保に努められるよう指導したい。



令和6年6月 定例会議 日程

◎開会時刻は午前10時です

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
	開会	質疑 一般質問	質疑 一般質問	質疑 一般質問 (予備日)	質疑 一般質問 (予備日)	
16	17	18	19	20	21	22
	総務 常任委員会	文教厚生 常任委員会	産業建設 常任委員会	予算決算 常任委員会	休会 (事務整理)	
23	24	25	26	27	28	29
	議決・散会					

6月11日(火)午後0時20分～50分
ふれあい市議会コンサートを開催予定
※天候等により順延となる場合があります

クイズ

小松島ステーションパーク ワーク
スタッフSL記念広場に令和6年
2月3日、インクルーシブ遊具及
び駐車場が完成しました。遊具は
何台あるでしょうか。

- ① 11台
- ② 21台
- ③ 31台

◇応募方法

はがきに答え・住所・氏名・年齢を記入。正解者の中
から、抽選で5名様に図書カード1000円分プレゼント!
〔当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。〕

◇あて先

〒773-8501
小松島市横須町1番1号 小松島市議会事務局
(締切日 令和6年5月31日消印有効)

前号クイズ

小松島市の水はおいしいと言われますが、水源は次のうちどれでしょ
うか。

(応募総数 57通) 答え ③深井戸水

五島市議会より広報特別委員会への視察



令和5年10月5日、
長崎県五島市議会議会広
報特別委員会の委員が視
察に来られました。議会
だよりの編集についてな
ど本市議会の取組を紹介
するとともに、活発な質
疑応答が行われました。

ふれあい市議会コンサート開催

3月定例会議の一般質問初日(3月5日)のお昼休
み、本会議場にてふれあい市議会コンサートを開催し
ました。

Yuri(ユリ)さんにご出演いただき、アンコー
ル曲を含めて6曲、演奏していただきました。エレク
トーンから繰り出される曲に合わせたリズム、多彩で
重厚な音が議場に響き渡り、歓声が沸き上がるなど、
お昼のひとときを楽しみました。



編集後記

広報委員長として議会だ
よりの紙面づくりを担って
いた廣田和三議員が、2月
に御逝去されました。哀悼
の意を表しますとともに、
これまでの御功績に心より
敬意を申し上げます。

今後も、読みやすい紙面
づくりに努めてまいります
ので、よろしく願いま
す。
(井内 章介)



故 廣田和三議員

広報委員

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
井内章介	米崎賢治	吉見勝之	安平剛之	津川孝善	肥野耕次	間愛結美